

◆NEW

2月3日(金)夕方、小学館に行き、担当のインディこと藤田信吾氏に、赤を入れたゲラを渡した。その後、発売に合わせた打ち合わせ。発売は28日ということで、来週校了となる。

この本は、いまや全盛時代を迎えたソーシャルメディアを、旧メディアで育ったおっさん(=私)の目から検証したもの。今後メディアがどうなっていくのかと考えるとき、避けて通れない問題を網羅したつもりだ。

『出版大崩壊 電子書籍の罠』(文春新書)から約1年、まさかこんなメディア論を書くとは、当時は思いもしなかった。

[→ Amazon.co.jp： 本当は怖いソーシャルメディア\(小学館101新書\)： 山田 順...](#)



(内容) 第1章 フェイスブックの落とし穴 第2章 シリコンバレーを占拠せよ 第3章
グーグルの挑戦と野望 第4章 ソーシャルメディア礼賛論の罠 第5章
電子書籍ガラパゴス村 第6章 新聞なき世界で起こること 第7章
目前に迫るメディア融合時代 第8章 ビッグブラザーが支配する監視社会